

臨時選挙管理委員会会議録要旨

日 時	令和7年2月9日(日) 午後4時 00 分
場 所	横浜市選挙管理委員会室
出 席 者	吉原委員長、和田委員長職務代理者、森委員、藤代委員
	武島事務局長、石川選挙部長、廣澤選挙課長、古川調査課長

議 事

1 報告事項

(1) 横浜市議会議員南区選挙区補欠選挙の投票状況について

《主な発言》

委 員：16時現在の投票中間速報の「投票率」は11.56%となっているが、期日前投票の分は含まれていないということでよいか。

事務局：そのとおり。期日前投票の6.7%を加えると、現時点では18%強となる。

《 報 告 の と お り 了 承 》

2 その他

令和7年第1回市会定例会における議案関連質疑について報告した。

《主な発言》

事務局：2月7日の市会本会議において、南区補欠選挙における啓発活動について質問を受け、委員長が答弁された。

委 員：2月1日の横浜SUP倶楽部のイベントはどうだったのか。また、啓発活動に対する手ごたえはどうか。

事務局：横浜SUP倶楽部の出発式イベントを広報車の出発式とあわせて行った。

新聞社2社にも記事にさせていただくなど、注目度は高かったと思う。

また、昨日、一昨日に弘明寺商店街及び横浜橋商店街でポケットティッシュを配布した。（当日は政党の党首等も応援演説に来ており、）多くの人に周知ができたと思う。

委員：民意を政治に反映させるためには、投票率は少なくとも60%は必要だと思うが、なかなかそのとおりにはっていないのが現状だ。海外の状況も同様のようだ。

委員：（市議会議員選挙の）投票率は戦後から現在に至るまで右肩下がり傾向がある。

委員長：昨今、ポスター掲示板やSNSなど選挙を取り巻く環境は変わってきており、議員も選管に関心を持っている。今回本会議において選挙管理委員会が答弁したが、選挙は民主主義の基本であり、教育を通じて児童・生徒の選挙に対する理解を深めるという意味では教育委員会の取組も重要だ。選挙は市役所全体で取り組むべきことだと思う。

《 説 明 の と お り 了 承 》